

# 「IT・エレクトロニクス技術戦略シンポジウム2009」を開催

- 主催：技術戦略委員会
- 担当部署：知的基盤部（技術戦略G）
- 参加者数：102名

## 概要

当協会の「技術戦略委員会」（委員長：須藤亮／東芝）及びその下部組織である「技術政策委員会」（委員長：荒川泰彦／東京大学）では、平成23年度から実施を予定している第4期科学技術基本計画に向けて、研究開発促進のための環境整備や重点開発技術など、今後取り組むべき課題について検討を進め、「サステナブル社会の実現に向けたIT・エレクトロニクス分野からの提言」と題した提言書を2009年9月に発行致しました。この提言内容につきまして、より多くの皆様にご理解を頂き、最先端技術開発のご紹介をいただきながら、我が国の科学技術政策の今後についての理解を深めて頂くことを目的として、去る12月9日（水）に、東京／総評会館において「IT・エレクトロニクス技術戦略シンポジウム2009」を開催しました。

今回のシンポジウムでは、経済産業省／産業技術環境局の石川産業技術政策課長から、イノベーション政策の在り方についてご紹介を頂いた後、須藤技術戦略委員長から提言書の内容についての紹介を行いました。また、最先端技術開発の一例として、ナノエレクトロ

ニクス技術開発の課題と展望、LSI技術革新に向けたフォトンクスとエレクトロニクスの融合について、それぞれ革新的な研究分野において第一線で活躍している曾根純一氏（日本電気）、荒川泰彦教授（東京大学）からご紹介頂きました。

最後に、みずほ情報総研／鴨川正次氏（執行役員サイエンスソリューション部長）から、低炭素社会の実現に向けた国際動向及び日本の取り組み、経済と環境が両立するグリーン・イノベーション等を概観し、21世紀環境調和型社会の実現に向けた日本のIT・エレクトロニクス産業への期待について講演頂き、「IT・エレクトロニクス産業の持続的発展なくして低炭素社会の実現はあり得ない」と結んでおります。

「技術戦略委員会」及び傘下の「技術政策委員会」では、今後も引き続き、我が国の科学技術政策の在り方や今後取り組んでいくべき、IT・エレクトロニクス業界の技術開発課題などについて、政策・提言を行っていくとともに、我が国の産業競争力強化に貢献していく必要があると考えられます。

## プログラム

### ○開会の挨拶

長谷川英一 氏 ((社)電子情報技術産業協会 常務理事)

### ○「イノベーション政策のあり方について」

石川正樹 氏 (経済産業省 産業技術環境局 産業技術政策課長)

### ○「サステナブル社会の実現に向けたIT・エレクトロニクス分野からの提言 (第4期科学技術基本計画に向けて)」

須藤 亮 氏 ((社)電子情報技術産業協会 技術戦略委員会 委員長・(株)東芝 執行役常務 研究開発センター長)

### ○「ナノエレクトロニクス技術開発の課題と将来展望」

曽根純一 氏 (日本電気(株) 中央研究所 支配人)

### ○「フォトンクスとエレクトロニクスの融合 ~ LSI技術の革新に向けて~」

荒川泰彦 氏 (東京大学 生産技術研究所 教授)

### ○「低炭素社会に向けた各国の政策と日本のIT・エレクトロニクス産業への期待」

鴨川正次 氏 (みずほ情報総研(株) 執行役員 サイエンスソリューション部長)

### ○閉会の挨拶

堀 修 氏 ((社)電子情報技術産業協会 技術政策委員会副委員長・(株)東芝 研究開発センター研究企画部長)



須藤委員長 (技術戦略委員会)



荒川泰彦教授 (東京大学)



会場の様子